

都心部における道路交通の円滑化に関する調査

交通混雑対策について

- | | | |
|--------------------------|-----|------|
| 1. はじめに | ・・・ | 1 頁 |
| 2. 都心部の交通混雑対策の方向性 | ・・・ | 2 頁 |
| 3. 新型コロナウイルス感染症に伴う交通への影響 | ・・・ | 4 頁 |
| 4. 施策の取組状況 | ・・・ | 6 頁 |
| 5. 今後の進め方 | ・・・ | 13 頁 |

都心部における交通混雑対策について

1. はじめに

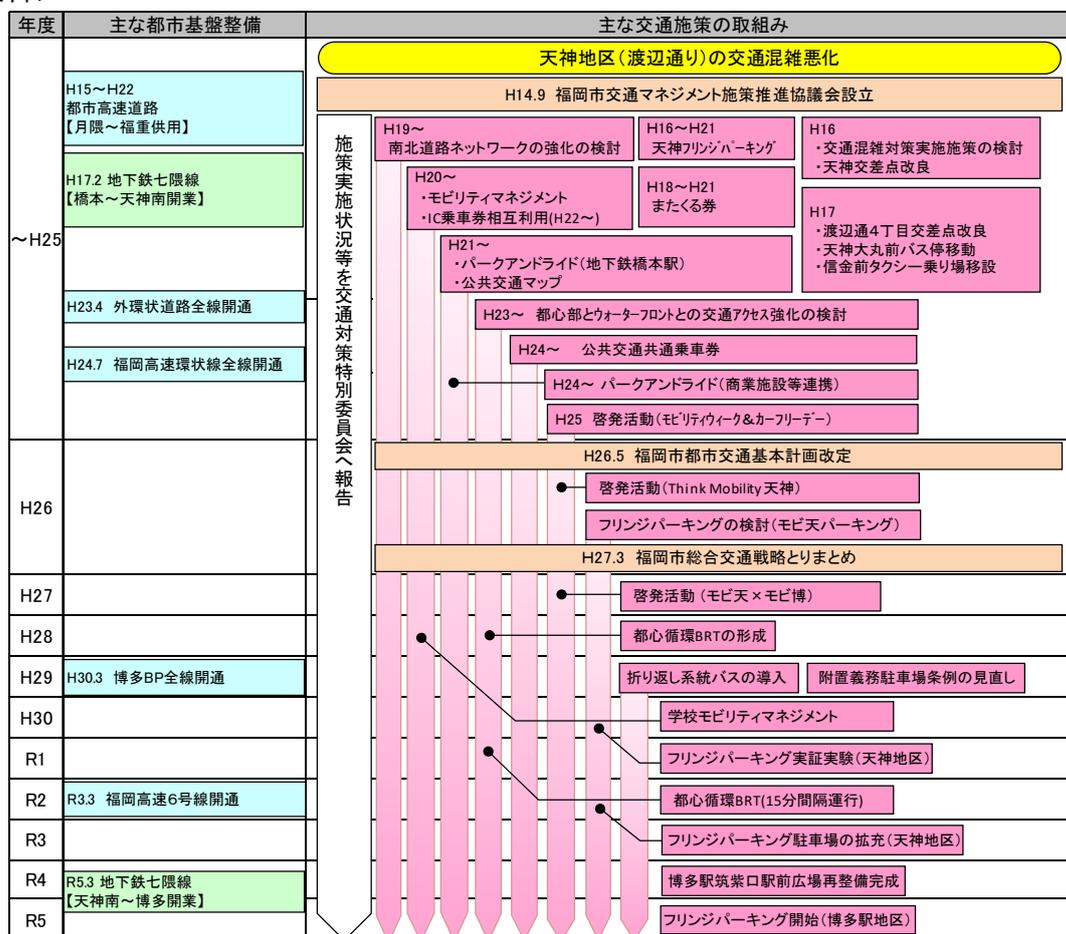
都心部における交通混雑対策については、地下鉄や駅前広場などの整備による公共交通ネットワークの強化を図るとともに、福岡外環状道路や福岡都市高速5号線をはじめとする放射環状型幹線道路ネットワークの形成による都心部通過交通の分散、交通マネジメント施策の推進による公共交通の利用促進などに取り組んできたところである。

特に、天神地区においては、交通需要の調整や交通容量の回復を図るため、「福岡市交通マネジメント施策推進協議会」において打ち出された、公共交通の利便性向上や都心部内の回遊性向上といった交通施策の方向性を基本としながら、交通状況や社会情勢の変化等を踏まえ、交通マネジメント施策を展開してきた。

このような中、多様化する交通課題や福岡市を取り巻く環境の変化に対応するとともに、「第9次福岡市基本計画」のめざす姿である「福岡型のコンパクトな都市」を実現するため、交通施策の基本的指針となる「福岡市都市交通基本計画」を平成26年5月に改定し、本計画で示す基本的な方針のうち、特に交通事業者等と連携して取り組む必要がある施策を「福岡市総合交通戦略」として平成27年3月にとりまとめ、様々な交通混雑対策に取り組んできた。

本委員会では、都心部の交通混雑対策の取組状況や今後の進め方などについて報告を行うものである。

<経緯>



2. 都心部の交通混雑対策の方向性

これまで、都心部の交通混雑対策については、都心部通過交通の分散や公共交通の利用促進などに取り組み、都心部の流入交通量は減少傾向にあるが、依然として都心部を目的とするバス・マイカーは多く、都心部の交通混雑やバス交通の定時性・速達性が低下する要因のひとつとなっている。

そのため、現在「福岡市都市交通基本計画」に基づき、全市的な視点から公共交通を主軸とし、多様な交通手段が相互に連携した総合交通体系の構築を目指し、特に都心部の交通対策としては、「道路交通混雑の緩和」や「都心拠点間の交通ネットワークの強化」を図るため、都心部内外において、以下の項目について取り組んでいるところ。

「道路交通混雑の緩和」に向けた取り組み

I-1. 全市での取り組み

通過交通の分散や公共交通の利用促進を図るため、道路・公共交通ネットワークの強化に取り組むとともに、都心部への自動車流入抑制を図るため、パークアンドライドや路線バスの幹線・フィーダー化等の取り組みを行う。

(今回の報告事項)

- ・パークアンドライド

I-2. 都心部での取り組み

都心部において、道路ネットワークの強化に加え、中心部への自動車流入抑制を図るため、フリンジパーキング等の取り組みを行う。

(今回の報告事項)

- ・フリンジパーキング、附置義務駐車場条例の特例制度の運用

「都心拠点間の交通ネットワークの強化」に向けた取り組み

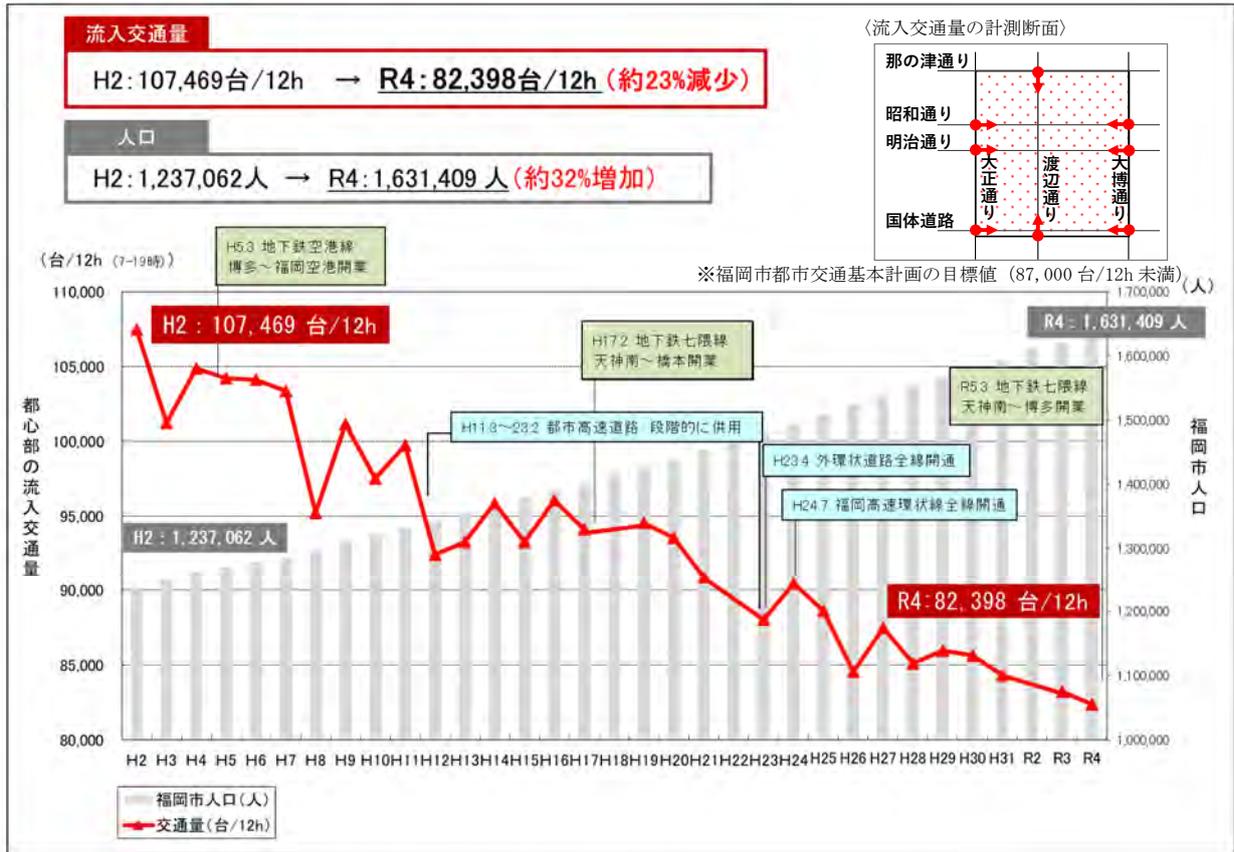
II. 都心部での取り組み

都心拠点間の交通ネットワーク強化を図るため、地下鉄七隈線の延伸や、都心循環BRTの取り組みを行う。

(今回の報告事項)

- ・都心循環BRT

<都心部の自動車流入交通量の推移（平日）>



<都心部の交通混雑対策の方向性>

福岡市都市交通基本計画(平成26年5月策定)

目標像Ⅳ：活力ある都心部を支える交通

方針9 都心拠点間の公共交通軸の形成と回遊性の向上

天神・渡辺通、博多駅周辺、博多ふ頭・中央ふ頭地区間相互の連携強化と回遊性向上を図るため、来街者にも分かりやすく使いやすい公共交通幹線軸と、歩いて楽しい歩行空間等の形成に取り組みます。

方針10 公共交通の利便性向上と自動車交通の円滑化

都心部内の道路交通混雑の緩和を図るために必要な幹線道路の整備と公共交通の利用促進を進めるとともに、既存道路の機能が十分に発揮できるよう、エリアマネジメント団体等と共働した交通マネジメント施策などを推進します。

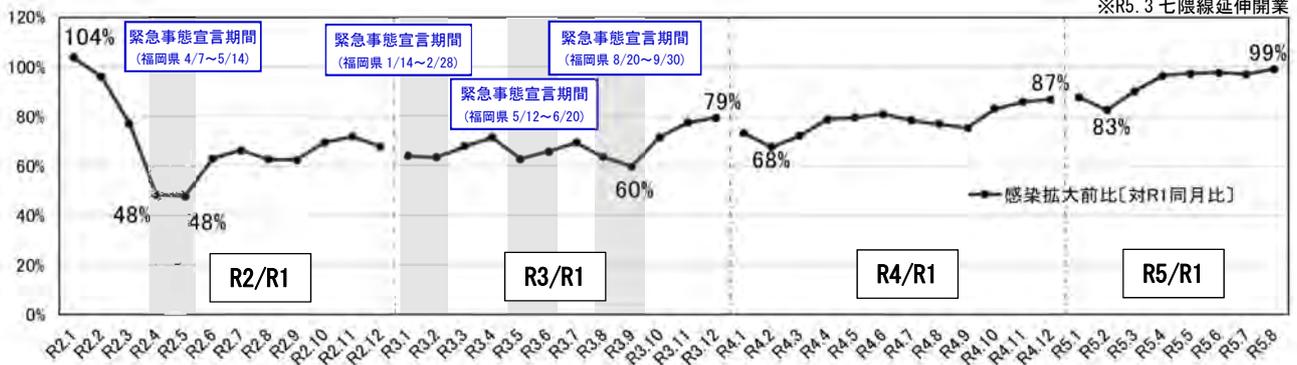
交通混雑対策の方向性		施策	
方針9	都心拠点間の交通ネットワーク強化	都心拠点間の公共交通アクセスの強化	地下鉄七隈線延伸 都心循環BRT
		拠点中心部への流入抑制	パークアンドライド プリングパーキング 附置義務駐車場の隔地・集約化
方針10	道路ネットワークの強化	バス路線の再編・効率化	連節バス増便にあわせた再編 折返し系統バスの導入(幹線・フィーダー化)
		幹線道路の整備	天神通線の延伸 那の津通り6車線化 築港石城町線の延伸
	通過交通の分散	走行障害要因の改善	交差点改良 信号現示の見直し バス・タクシー乗り場等の見直し
		放射環状型の道路整備	福岡外環状道路整備 都市高速道路整備 等
公共交通の利用促進	公共交通アクセス・交通結節機能の強化	バス停の近接化 筑紫口駅前広場の再整備 ウォーターフロント地区の交通広場の整備 ウォーターフロント地区の公共交通専用動線の整備	
	交通マネジメントの推進	公共交通利用促進措置による附置義務台数の低減 モビリティ・マネジメント 公共交通共通乗車券	

3. 新型コロナウイルス感染症に伴う交通への影響

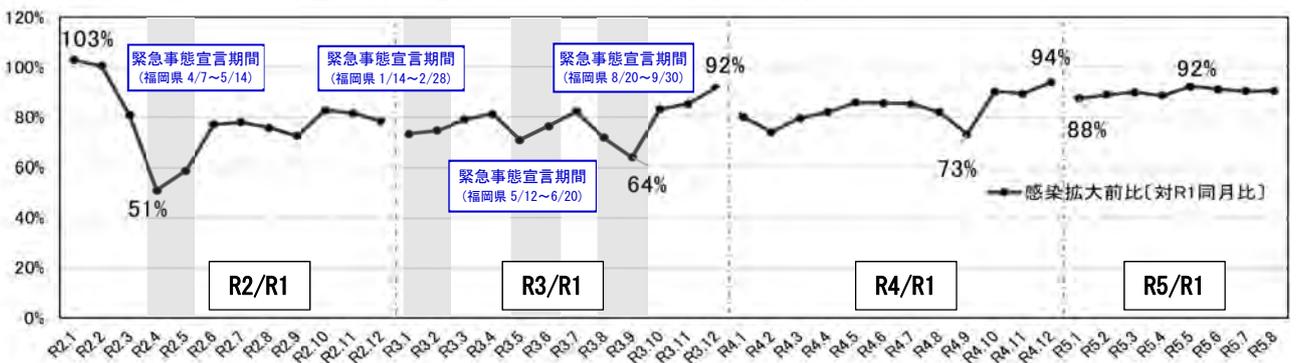
(1) 公共交通

公共交通の輸送人員については、徐々に回復しているものの、感染拡大前である令和元年度の水準に戻っていない。

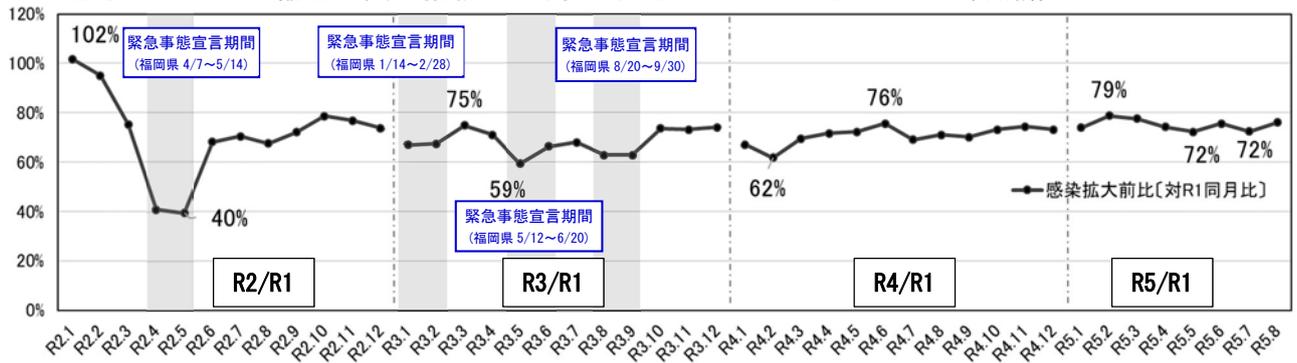
＜福岡市地下鉄の輸送人員の推移（感染拡大前比〔対R1 同月比〕）＞ ※全線



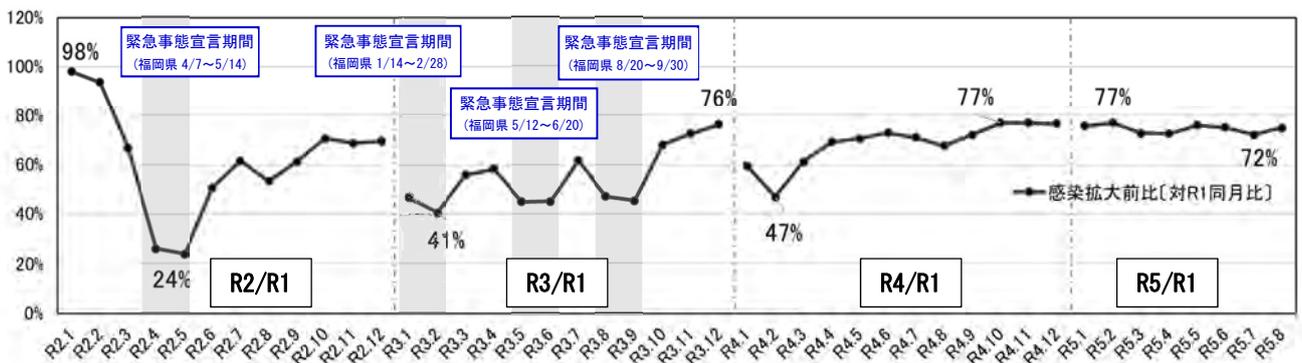
＜西鉄（電車）の輸送人員の推移（感染拡大前比〔対R1 同月比〕）＞ ※西鉄天神大牟田線、貝塚線



＜西鉄（バス）の輸送人員の推移（感染拡大前比〔対R1 同月比〕）＞ ※市内路線バス



＜タクシーの輸送人員の推移（感染拡大前比〔対R1 同月比〕）＞ ※福岡交通圏内



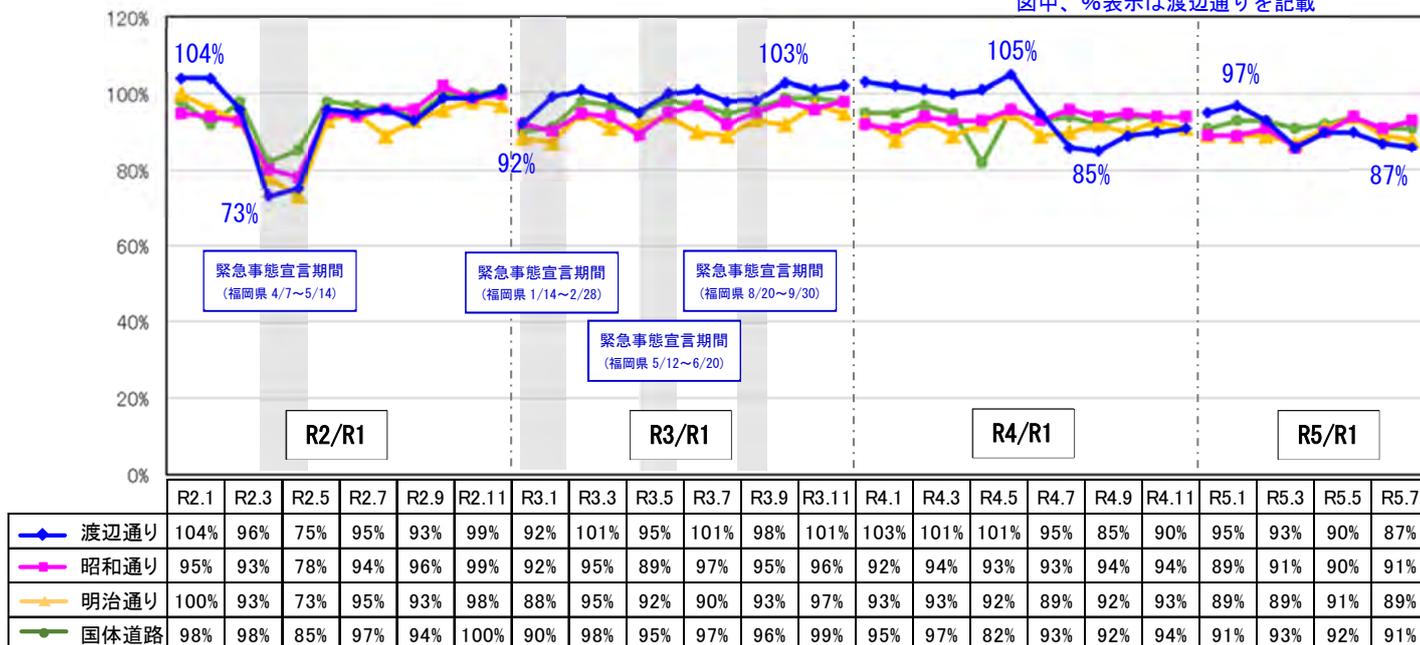
(各事業者提供資料を基に作成)

(2) 自動車交通

都心部における自動車交通量は、感染拡大前である令和元年度から大きな減少は見られず、依然として局所的な渋滞が見受けられる。

<自動車交通量の推移（感染拡大前比〔対R1 同月比〕）>

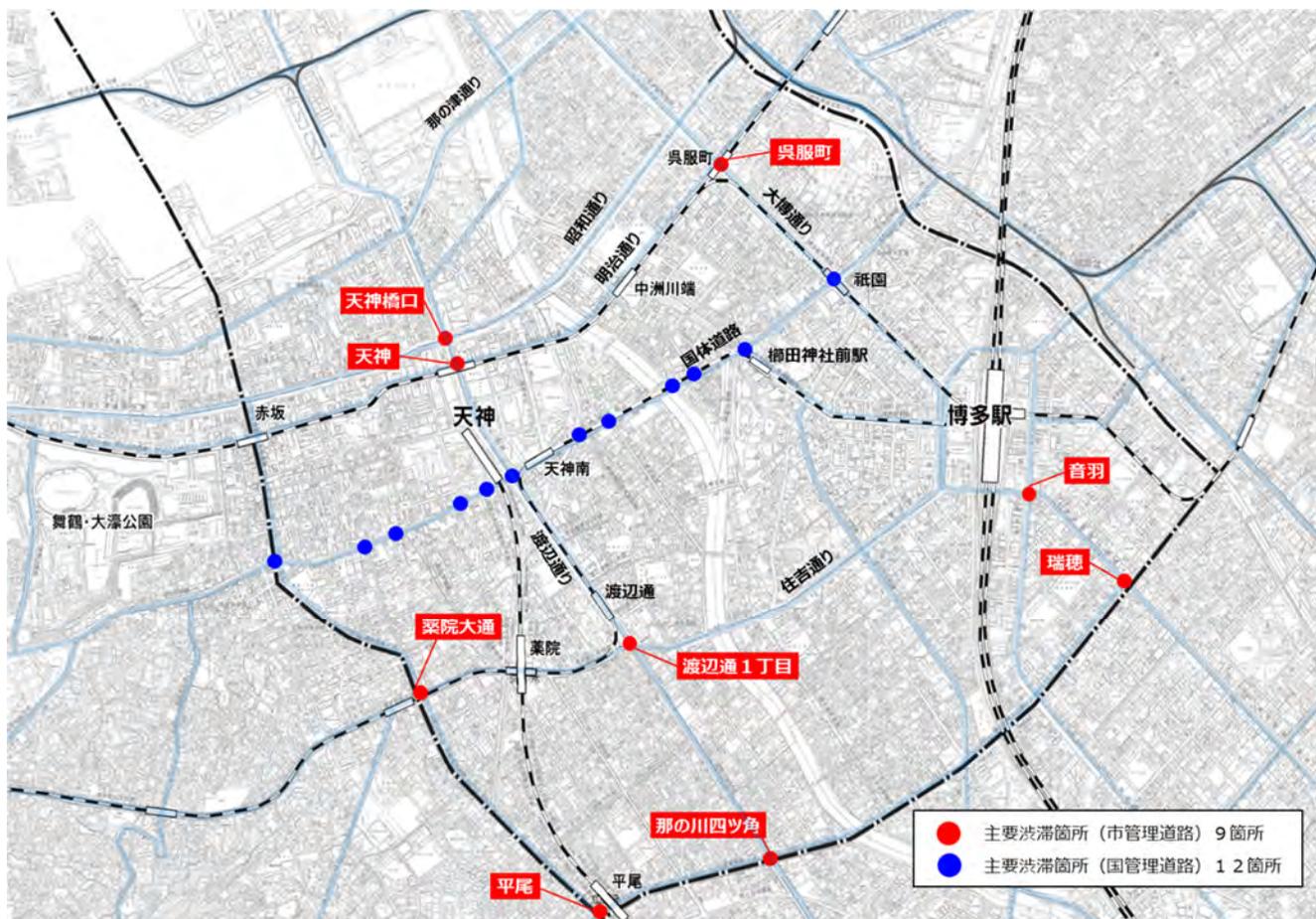
※渡辺通り、昭和通り、明治通り、国体道路
 図中、%表示は渡辺通りを記載



(日本道路交通情報センターの公表データを基に作成)

[参考] 都心部の主要渋滞箇所（令和4年8月時点）

主要渋滞箇所の選定基準は、車両の平均速度が20km/h未満などが要件となっている。



(福岡国道事務所の公表データを基に作成)

4. 施策の取組状況

I-1. 道路交通混雑の緩和に向けた取組み<全市での取組み>

(1) 交通事業者と連携した公共交通利用促進

都心部のまちづくりにより、今後、都心部を訪れる市民・来街者の増加が見込まれます。ますます人の動きが活発化する中で、福岡市・西鉄・JR九州が連携し、更なる公共交通利用促進の取組みを行っている。

- ・夏休みの外出を促進する企画乗車券や特別運賃
- ・パークアンドライドやフリンジパーキングの利用促進
- ・イベントと連携した公共交通利用促進
- ・様々な広報・PRによる普及・啓発



(2) パークアンドライド

大型商業施設の駐車場や民間の時間貸駐車場等と連携し、郊外部の駅周辺等にパークアンドライド駐車場を確保するとともに、交通事業者等と対象駐車場の位置や利用特典など分かりやすく情報発信することなどにより、バス・鉄道の利用を促進し、都心部への自動車流入の抑制を図る。

<福岡都市圏におけるパークアンドライド駐車場>

月 極：41 箇所、枠数総計約 2,800 台
時 間 貸：26 箇所、枠数総計約 8,600 台

(※月極と時間貸の両形態で運営：10 箇所)

<市 HP 等による情報発信>

お得なパーク&ライド

おトク! 商品券がもらえる!
商業施設駐車場でP & Rを利用すると、提携店舗の商品券が付与されるのでお得!

おトク! 駐車料金が割引価格
公共交通機関を利用すると、駐車料金の割引が受けられるのでお得!
※利用特典内容や有無は、駐車場ごとに異なります。

パーク&ライド駐車場を探す

月極駐車場：毎日の通勤などで平日に都心部へ出かける方にオススメ!
時間貸駐車場：土日などに家族でおでかけする際にとっても便利!

月極駐車場 時間貸駐車場

周辺市町も含め一括掲載!

Click

Click

福工大前駅北駐車場

所在地
糟屋郡新宮町美咲 2-7

最寄駅
福工大前

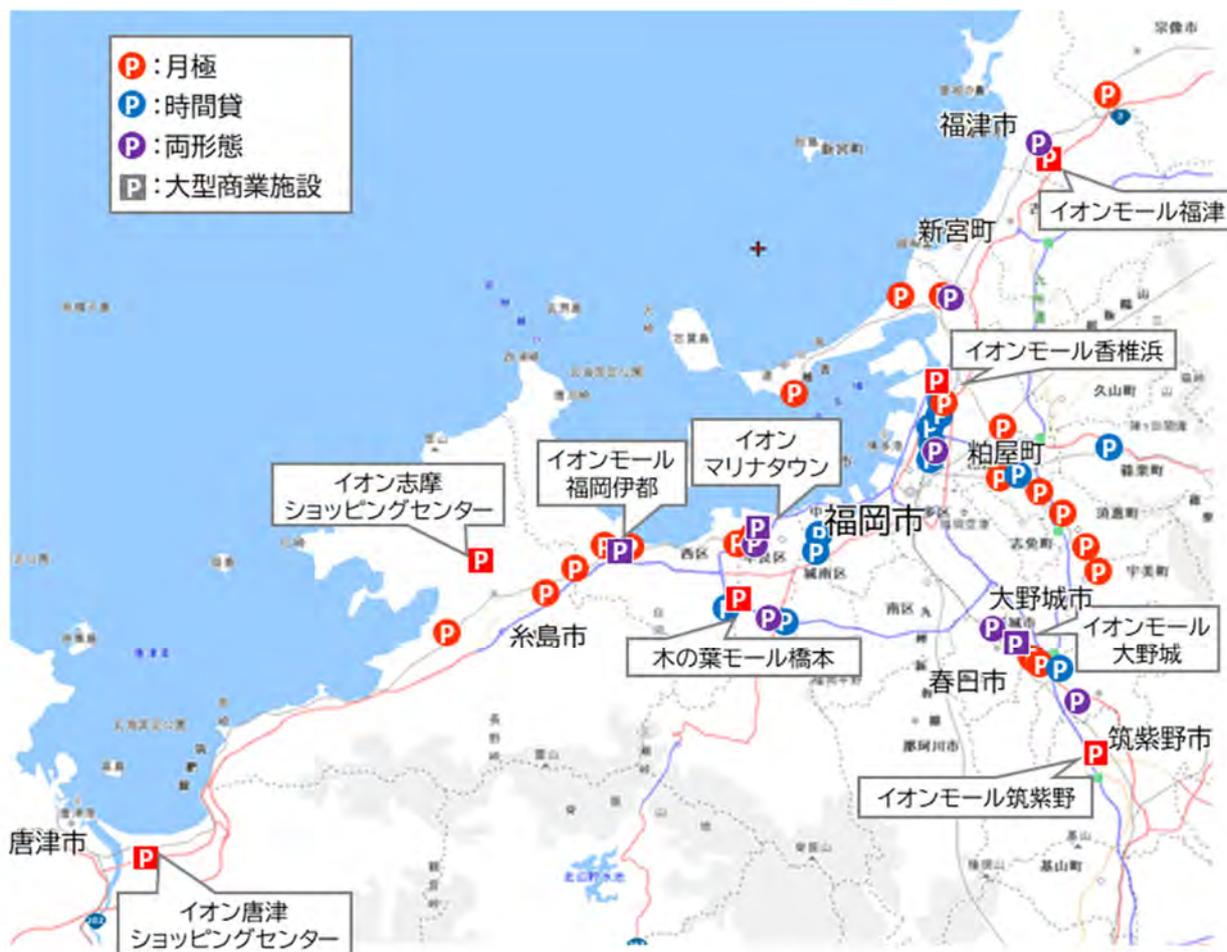
収容台数
33台

利用時間
24時間

月極料金
一般：9,000円
JR 定期利用者：7,100円
※税抜価格

料金割引などお得情報も!

<位置図>



<大型商業施設の駐車場を活用したパークアンドライド（令和5年9月時点）>

（単位：台、円/月）

大型商業施設	枠数	契約数	料金	乗継先	支払方法
イオンモール福岡伊都	125	121	4,191	鉄道	現金
木の葉モール橋本	80	69	6,000	地下鉄	現金
イオンモール香椎浜	70	70	5,000	バス	商品券購入 or WAONチャージ
イオン唐津ショッピングセンター	30	30	5,000	バス	商品券購入 or WAONチャージ
イオンモール福津	70	4	5,000	バス	商品券購入 or WAONチャージ
イオンモール筑紫野	70	70	5,000	鉄道	商品券購入 or WAONチャージ
イオン志摩ショッピングセンター	20	8	5,000	バス	商品券購入 or WAONチャージ
イオンマリナタウン店	20	14	4,400	バス	現金
イオンモール大野城	21	21	4,000	鉄道	現金
計	506	407	-	-	-

※平日のみ利用可

I-2. 道路交通混雑の緩和に向けた取組み <都心部での取組み>

都心部における駐車政策について

フリンジパーキングの確保や附置義務駐車場条例の特例制度の運用により、天神中心部などに集中する駐車需要を低減・分散させ、中心部への自動車流入の抑制を図る。

フリンジパーキング … (1)

天神中心部などに来訪する自動車交通を公共交通との結節性が高い周辺部の駐車場で受け止めることにより、都心中心部への自動車流入の抑制を図る。

附置義務駐車場条例の特例制度の運用 … (2)

附置義務駐車場条例では、商業地域等において、一定規模以上の建築物を対象として、駐車場の確保を義務付けしている。

一方で、都心部では、交通負荷の軽減を図るため、特例として、公共交通利用促進措置による駐車台数の低減や、天神中心部においてエリア外へ駐車場を確保する隔地化を促進している。

<天神地区における駐車政策の考え方>



(1) フリンジパーキング

① 概要

駐車場事業者は空き駐車マスの提供、交通事業者は片道乗車券の無償提供、エリアマネジメント団体（以下、エリマネ団体）は駐車券の割引処理機の維持管理等を行っており、関係者の協力のもと取り組んでいる。

<天神地区>

平成31年3月からエリマネ団体である“We Love 天神協議会”と共働でフリンジパーキングを通年で実施している。

実施期間	平成31年3月16日開始
対象 駐車場	ボートレース福岡 第1立体駐車場 (1083台) アキラパーキング (200台) グランドパーキング (381台)
駐車料金	天神に行く方限定 駐車料金最大500円 [駐車券割引] 福岡市観光案内所 ライオン広場 (セルフ割引)
利用特典	乗車人数分の西鉄バス片道乗車券もしくは福岡市地下鉄片道乗車券※を福岡市観光案内所にて配布
実施主体	実施主体 : 福岡市、We Love 天神協議会 協力企業 : 中央地所(株)、セイワパーク(株)、西日本鉄道(株)

<位置図>



<博多駅地区>

住吉パーキングにおいて実施した社会実験（令和4年12月～令和5年1月）を経て、令和5年4月からエリマネ団体である“博多まちづくり推進協議会”と共働で新たに運用を開始している。

実施期間	令和5年4月28日開始
対象 駐車場	グランドパーキング (381台) 住吉パーキング (420台)
駐車料金	博多に行く方限定 駐車料金最大500円 [駐車券割引] 博多駅総合案内所
利用特典	乗車人数分の西鉄バス片道乗車券もしくは福岡市地下鉄片道乗車券※を博多駅総合案内所にて配布
実施主体	実施主体 : 福岡市、博多まちづくり推進協議会 協力企業 : 中央地所(株)、西日本鉄道(株)

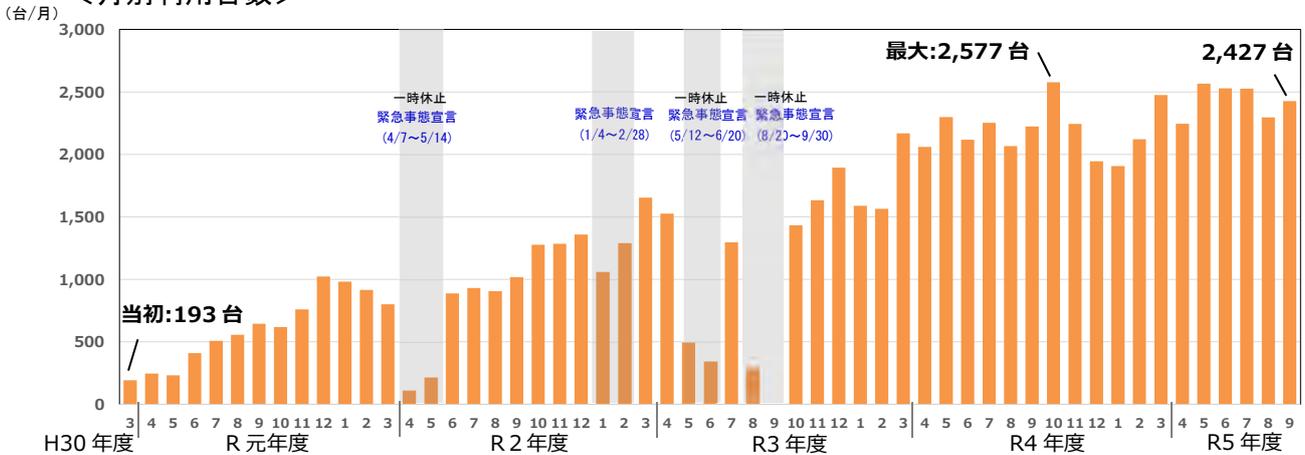


※令和5年10月より、従来のバス片道乗車券に加え、新たに地下鉄片道乗車券が選べる。

② 利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、緊急事態宣言期間中は休止したが、平成31年3月の開始以降、利用者は増加傾向にあり、令和5年9月に約2,400台/月の利用があった。

<月別利用台数>



③ 利用促進

フリンジパーキングの周知のため、天神・博多駅の両地区で街路灯バナー広告を掲示しているほか、10月に天神で開催された大規模なイベントにあわせて、チラシやフリンジパーキングが後日無料になる引換券の配布を行った。

また、市ホームページにおいて、各対象駐車場から中心部に向かう手段として、バス・地下鉄の乗り場やシェアサイクルのポート位置図を掲載するなど、乗継案内の充実に努めている。

今後も、市政だよりへの掲載や各種 SNS を活用した発信など、認知度向上に向けた取り組みを進めるとともに、対象駐車場の拡充に取り組んでいく。



街路灯バナー (博多駅地区)



イベント時におけるPRブースの設置



市ホームページでの乗継案内 (地下鉄の事例)

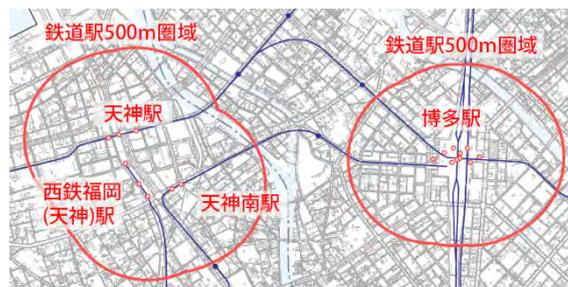
(2) 附置義務駐車場条例の特例制度の運用

都心部においては、中心部の交通負荷の軽減を図るため、特例として、公共交通利用促進措置による駐車台数の低減や隔地化を促進する。

① 公共交通利用促進措置の実施による駐車台数の低減（天神・博多）

公共交通の利便性が高い都心部において、公共交通利用促進措置が実施される建築物に対して、駐車台数を低減する（最大40%低減）。

<対象範囲>



<公共交通利用促進措置の主なメニュー>

- ・ 鉄道駅への地下通路等の接続
- ・ 従業員のマイカー通勤の規制
- ・ 公共交通の時刻表の表示・冊子配布（啓発を含む） 等

② 天神中心部（隔地促進エリア）における附置義務駐車場の隔地化

隔地促進エリア内は、駐車場の隔地化を促進しており、エリア外かつ、敷地より500m以内の場所、または、市が別に定める交通混雑の緩和に資する場所に隔地することができる。

<隔地促進エリア>

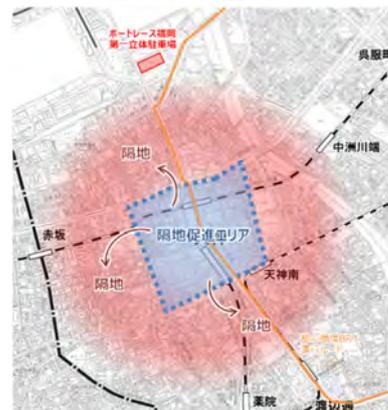


○天神BBB（ビッグバンボーナス）隔地駐車場について

天神BBB隔地駐車場とは、天神BBBの認定を受けたビルが、附置義務駐車場の隔地先として、市が定める駐車場を優先的に利用できる制度である。

天神北ランプに近接し、都心循環BRTとの結節性も高い、ポートルース福岡第1立体駐車場を天神BBB隔地駐車場として活用することで、天神中心部への流入抑制を図るもの（令和6年度運用開始予定）。

<駐車場位置図>



Ⅱ. 都心拠点間の交通ネットワークの強化に向けた取り組み <都心部での取り組み>

(1) 都心循環BRT

連節バスの導入をはじめ、バス路線の再編・効率化、バス走行環境の改善、鉄道等との乗継強化などを行い、天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区、ウォーターフロント地区を効率よく繋ぐことで、都心拠点間の交通ネットワークの強化を図る。

①運行状況

令和元年7月から約15分間隔で運行中。
新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に利用が低迷していたが、5類感染症移行（R5.5.8）後は、前年同月と比較すると概ね増加傾向にある。

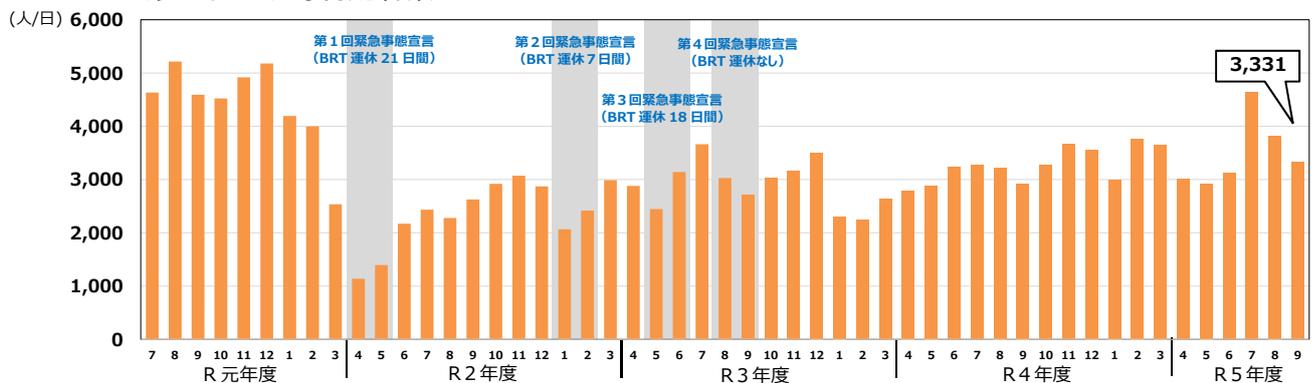
<運行概要>

ルート	3拠点間の循環運行	
便数	94便/日（約15分間隔）	
停留所数	9箇所	
利用者数	約5,200人/日 ※R元.8時点 R5.9時点では約3,300人/日	

<運行ルート>



<1日あたりの平均利用者数> ※15分間隔運行開始以降



②バス路線の再編・効率化

連節バスの導入による輸送力の強化とあわせて、道路交通混雑の緩和を図るために、バス路線の再編・効率化を実施し、都心部の路線バスを約2割削減。

(渡辺通り：約15%減、大博通り：約18%減)

また、連節バスの約15分間隔運行により、バス交通（連節バス+路線バス）の輸送力を約1.3倍に増強。

③バス走行環境の改善

都心循環BRTを含めた路線バスの定時性・速達性の確保による公共交通の利便性を向上させるため、交通規制（バス優先レーン）の拡充・強化にあわせ、バス走行空間の明示化等を実施。

<バス走行空間の明示化(H31.2)>



5. 今後の進め方

福岡市においては、公共交通を主軸として多様な交通手段が相互に連携した総合交通体系の構築を目指し、公共交通ネットワークの強化や幹線道路ネットワークの形成、交通マネジメントの推進に取り組むこととしており、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の公共交通の利用者の動向や地下鉄七隈線延伸（天神南～博多）の開業に伴う交通状況の変化を把握しつつ、市民や企業、交通事業者、行政がより一層連携した交通対策に取り組んでいく。

都心部においては、以下の施策等について取り組みながら、道路交通混雑の緩和や都心拠点間の交通ネットワークの強化を図っていく。

- ・都心循環BRTに係る定時性・速達性の向上や利用促進に向けた取組み
- ・フリンジパーキングの利用促進に向けた取組み
- ・ウォーターフロント地区のまちづくりに応じた交通対策の検討
- ・天神通線の南北延伸部の整備